



# ちばりは ニュース

2023年11月発行 第54号

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

— 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

## 基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



〒266-0005

千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>



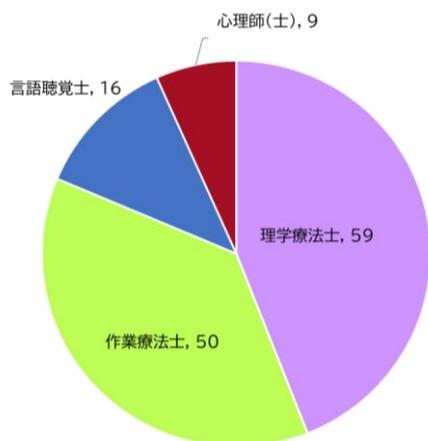
## リハビリテーション治療局 Department of Rehabilitation

### 【リハビリテーション治療局の方針】

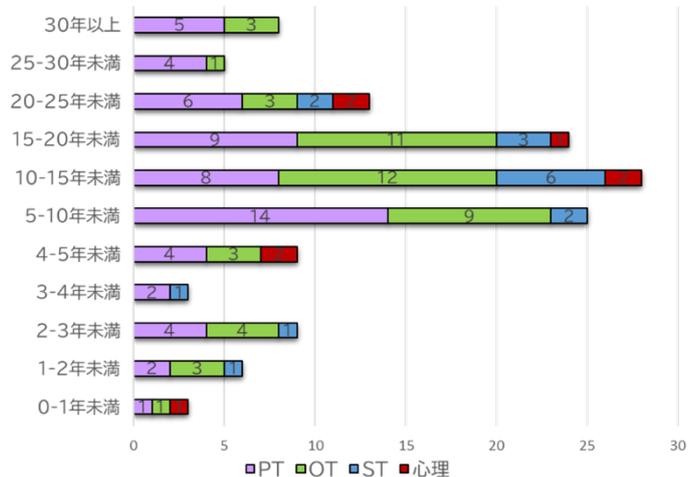
1. 国際的標準レベルのリハビリテーション治療の提供のため、専門性を高めることを追求する
2. 千葉県内の多職種・多機関と協働し、利用者が地域でその人らしい生き方ができる支援を展開する
3. リハ治療局の臨床・研究の取り組みや成果を、さらに洗練させ世界に発信する



リハビリテーション治療局は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理師（士）が在籍し、総勢 134 名のスタッフが患者様のリハビリに対応します。



セラピスト職種内訳 (2023.4 現在)



セラピスト経験年数 (2023.4 現在)

# 成人療法室

患者様の状態に合わせ、最適な治療法を組み合わせたハイブリッドリハを提供します。

成人療法室では主に脳血管障害・頭部外傷・脊髄損傷・四肢切断や整形外科術後の方を対象に支援しています。磁気刺激や電気刺激などの物理療法、ロボットリハやCI療法などのニューロリハビリテーションなど多彩な治療法を組み合わせ、効果的なリハビリテーションを提供しています。また自動車運転支援や高次脳機能障害に対する支援も成人療法室の特徴です。

## コミュニケーション支援



失語症をはじめとした様々な言語障害を支援します

## グループ訓練



グループ訓練で作成した作品例

## 磁気刺激 (TMS)



脳の神経を刺激して運動神経の促進を図ります

## 電気刺激療法



筋肉を刺激して運動を誘発します

## CI療法



麻痺した手足の動きを短期集中的に練習します



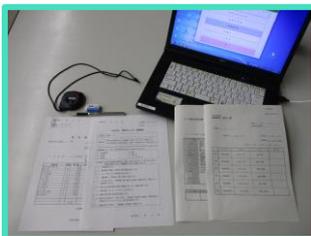
## ロボットリハ



ウェルウォーク WW-2000

ReoGo-J

## 高次脳機能訓練



仕事をイメージした注意力課題などを使います

## 車椅子操作



生活場面に必要な操作練習を行います

## 自動車運転支援



運転再開に向けた評価や支援をしています

## 嚥下訓練



嚥下訓練と誤嚥の検査を行います

## 研究に取り組んでいます

リハビリテーション治療部では、研究活動にも精力的に取り組んでいます。毎年、リハビリテーションに関する学会で20~30題の演題発表と、学術誌に論文を数題投稿しています。研究はものすごいエネルギーを必要としますが、リハビリテーション治療の発展のためにトライしています。今年度、海外学会に4名のセラピストが挑戦し有意義なディスカッションと、海外の文化に触れてきました。



# 小児療法室

様々な道具や最新リハを取り揃えています

小児療法室は理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、公認心理師が入園・外来含めて約 2000 名以上のお子さんたちと関わっています。お子さん・ご家族のやりたいこと・困っていることを中心に、移動や日常生活動作・摂食などの支援・助言を行っています。何より大事にしているのは、お子さんが「楽しく」リハビリできることです。デジタル・リハビリテーション、baby loco、HABIT-ILE、ショックマスターなどの最新機器・リハビリや、歩行器やスパイダーなどの機器、補助具などを常に取り入れています。

## Baby-loco



1人で座れない・歩けない子でもボタンを押すことで移動する経験を得られる機器です

## 歩行器



サドルがついた歩行器で安全に動く練習をします

## スパイダー



ロープで体を支えることで立位やジャンプなどの運動を経験できます

## 摂食訓練



食べる(噛む)、飲む練習をするために、お箸やスプーンを持ちやすく工夫した道具を使います

## 三輪車



安全に乗れる三輪車です

## ボツリヌス療法



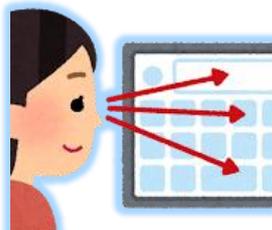
筋肉注射で、固くなった手足の改善を図ります

## HABIT-ILE デジリハ



壁に投影されたゲームを、全身を使って動かします。デジタル・リハビリテーションを用いた最新・最先端の小児リハビリです

## ICT 視線入力スイッチ



口や手指、足を使ったスイッチをはじめ、目の動きを使ってパソコン操作やゲームなどが行える機器を活用します

## 電気刺激療法



手足を動かす練習の手助けをする機器です

## 動作解析



歩いている時の足の角度や歩き方などを骨格で確認できる動作解析の機器です

## 令和5年度（第58回）日本脊髄障害医学会で

### 「学会奨励賞」に選ばれました！

当センター作業療法士の高浜功丞さんの演題が「学会奨励賞」に選ばれました。

#### ●受賞演題

「脊髄損傷者における自動車運転リハビリテーションの多角的検討」

#### ●発表者

高浜 功丞（作業療法士）

#### ●共同研究者

神保 和正、吉村 友宏、  
安森 太一、村山 尊司、  
菊地 尚久

#### ●受賞した感想

このたびの受賞に際し、多くの方から祝福のコメントをいただき、心より感謝いたします。本学会は12年にわたり参加し、6年前の当センター主催の大会では運営にも関わらせていただいたことから、とても思い入れの深い学会です。振り返ると、脊髄損傷に携わる多くの千葉リハの方々の積み重ねが今回につながったと感じています。本当に皆様のおかげです。また縁あった患者様からも多くの示唆をいただきました。千葉リハの存在あっての受賞です。これからも臨床と研究に励みたいと思います。



### 【開催報告】 スマーター・インクルーシブ・ダンス用ロボットの試乗・体験会



東北大学の平田教授

東北大学の平田泰久教授らによる「Yes We Dance！」プロジェクトに参加し、スマーター・インクルーシブ・ダンス用ロボットの試乗・体験会を10月11日・12日に当センターにて開催しました。このプロジェクトは、JSTムーンショット型研究開発事業の一環として実施されています。



フランスやカナダなどから関係者が来訪 頭や胸に取り付けたセンサーにより、動きに合わせて自由に車椅子型・立位型ロボットを動かすことが可能

「Yes We Dance！」プロジェクトは、AIロボットのアシストにより、障がいの有無にかかわらず、誰もがダンスを楽しむことができる「スマーター・インクルーシブ・ダンス」の実現を目指して発足しました。プロジェクトのメンバーには工学系、医療系、身体表現/ダンスの専門家、音楽家が含まれます。海外7か国の関係者が参加し、グローバルな試乗・体験会となりました。

試乗・体験会には、センターの利用者様や医療従事者、報道関係者に参加いただき、最先端技術の可能性を感じていただく良い機会となりました。AIロボット等の先端技術を活用し、誰もが街でその人らしい生活や社会参加ができるような地域づくりを目指し、今後もこのような機会を千葉リハから創出していきます。（地域リハ推進部）



### センター夏祭り



令和5年8月25日（金）に4年ぶりに夏祭りを開催いたしました。愛育園のみでの開催となりましたが、各病棟でお神輿や盆踊りを行い、利用者さんも職員も楽しい時間を過ごしました。

